



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 Page 1

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 775人

医師 163人

コメディカル 612人

【管理栄養士紹介登録数42人】

平成20年8月20日現在

《目次》

～小児1型糖尿病サマーキャンプ「つぼみの会2期」～

藤原 恵子先生……Page 1

研究会等の実施報告……Page 2、3

研修会等のお知らせ……Page 4

～小児1型糖尿病サマーキャンプ「つぼみの会2期」～

ー福島県伊達市霊山町8月8日～13日ー

緑風荘病院 管理栄養士 藤原恵子

松戸クリニックの丸山博先生が日本で初めて実施されたキャンプに、2000年から当院管理栄養士の西村一弘と参加しています。キャンプ長の東京女子医科大学八千代医療センター小児科・佐々木香織先生や武居小児科医院・武居正朗先生のご指導をいただきながら、2001年からは谷口内科・福島芳子先生と共に、子供達の栄養管理や栄養教育と栄養スタッフの総括をしています。

1型糖尿病の合併症として問題になる摂食障害を防ぐため、2期の食事はフリーダイエットとし、食欲や活動量などにより食べる量を決めています。摂食量（PCで評価）は医師に伝えインスリン量の調節に役立てていただき、授業や調理実習なども行い、実生活に活かせる栄養教育をしています。大自然の中で子供達と遊び、沢山のパワーをいただきました。2月から会議や準備を重ね、時には徹夜？も楽しく、全スタッフが「子供達のために！！」という熱い想いで運営しているキャンプです。今年も日本病態栄養学会や日本糖尿病学会でご報告します。



研修会等の実施報告

平成20年度西東京糖尿病療養指導プログラム開催報告

平成20年7月27日（日）「一橋大学 国立キャンパス」において開催されました。

平成20年 7月27日（日）一橋大学国立キャンパスにおいて平成20年度西東京臨床糖尿病療養指導プログラムを開催いたしました。当日は総勢501名の参加者の皆さんが教育看護、病態栄養、薬剤と3部会に分かれ専門分野での研修会を行った後、同学兼松講堂に出席者全員が集まり、聖路加国際病院理事長名誉院長日野原重明先生にご講演をいただきました。



第5回 西東京教育看護研修会

当会評議員 けいゆう病院 和田 幹子

今年度の第5回教育看護研修会は、実践知に溢れた研修会でした。午前中のパネルディスカッション「患者と家族への支援～発達段階別における実践者の取り組み～」では、3人の認定看護師が小児や妊産婦、そして高齢の糖尿病患者さんと家族への看護の実践を余すところなく語ってくれました。多くの事例が取り上げられたことで、参加者の方は具体的にイメージしやすく、実践に使える研修となったようです。午後は、金沢大学大学院の稲垣美智子教授に「慢性疾患の患者と家族を包括的に支援していくプロセスとケアについて」のご講演をいただきました。慢性疾患患者として自律するための、家族の自律共々支援していくプロセスを、アセスメントや評価方法など、重要なツールの紹介とともに、わかりやすく説明してくださいました。患者と家族を包括的に支援していくことの重要性を楽しく学ぶことができ、とても有意義な研修でした。



第5回 西東京病態栄養研修会

東京医科大学八王子医療センター 福元 敦子

講演1では浜田 亮歯科医師による「糖尿病と口の中の健康」をテーマに食べるための『歯』の全身に及ぼす歯周病と高血糖、その予防と診療内容の現状についてご講演を頂き歯周病についての認識を深めました。講演2では「糖尿病とストレス」と題して東北大学病院心療内科本郷 道夫教授がさまざまなストレスに曝されている環境下で、特に糖尿病患者では、治療そのものがストレスとなり『うつ』になる人が多く血糖コントロールが乱れる大きな要因となっていると話され、そのような療養指導が困難な3症例を具体的に示されました。フロアーからも担当する困難例に対するアドバイスが求められ、「励ましくなく傾聴と肯定、共感が大切」だが、専門家への対診依頼の重要性を強調されました。午後はパネルディスカッション「歯、噛む、歯周病を探る」のテーマで、先ず座長の八王子医療センター植木 彬夫教授より「第6番目の合併症としての歯周病、歯科医師との連携が必須」「ますます多職種でのチーム医療が重要」との見解が示された後、小田奈央子歯科衛生士が歯周病の治癒に伴い良好な血糖コントロールが得られた症例を発表しました。浅海隆司臨床検査技師からは検査値の意味、特に高感度CPRが指標になること、緒方京子管理栄養士は噛むことによる肥満、高血糖の予防について具体的に説かれフロアーと活発な意見交換が行われました。



第5回 西東京薬剤研修会

当会評議員 東京都老人医療センター 深野 光司
 薬剤系は133名の受講者が参加し、東京都病院薬剤師会常任理事の厚田幸一郎先生による挨拶で幕を開けました。基調講演「糖尿病療養指導士の現状と方向性」では、厚田幸一郎先生（北里研究所病院薬剤部・北里大学薬学部教授）より、薬局薬剤師にも受験資格が得られるように、また、特定保健指導に携わる者に糖尿病療養指導士が加えられるように活動していくことを述べられました。教育講演1「糖尿病治療の新しい展開」では、石田均先生（杏林大学医学部第3内科教授）より α -グルコシダーゼ阻害薬やチアゾリン誘導体、降圧薬のアンジオンテンシン受容体ブロッカーや今後発売予定のGLP-1やDPP4阻害薬にも膵 β 細胞を保護する働きがあることについて、ご教示いただきました。教育講演2「糖尿病患者さんとの関わり方～これからのエンパワーメントに取り組みたい薬剤師のために～」では、大橋健先生（東京大学医学部付属病院糖尿病代謝内科）より、質問で進めるエンパワーメントの5つのステップ（①問題を特定する ②感情を明らかにする ③目標を設定する ④計画を立てる ⑤結果を評価する）と療養支援するためのツールについてご教示いただき、実際に二人組みになって実践し理解を深めました。



日野原重明先生 特別講演

テーマ：病気になる生活習慣「患者も医療者も楽しく元気に生きるために」

研修の最後を飾る日野原重明先生の特別講演では、たくさんのパワーと元気をいただくことができました。言葉の一つ一つに重みがあり、愛がありました。「日野原先生の元気のもと」を伺うことができ、参加者の満足度も高い講演でした。ご講演の最後に、日野原先生から「3年後にまた講演をします」というサプライズが飛び出し、会場は多いに盛り上がりました。3年後に日野原先生の100歳記念のご講演を西東京糖尿病療養指導プログラムで実現することを目指し、世話人として本プログラムの質を落とさないように研鑽していきたいと思えます。

最後にNPO法人西東京臨床糖尿病研究会理事長貴田岡正史先生の閉会の挨拶で幕を閉じました。お忙しい中、今回のご講演を快諾していただき、こころが温くなるような患者さんとの向き合い方を丁寧にお聞かせくださった講師の方々、運営スタッフの皆さん、そして、この夏一番の暑さを感じつつ、集まってくくださった参加者の皆さんに心から感謝致します。





研究会他のお知らせ



直接事業



間接事業

◆ 第2回 西東京運動指導体験セミナー (※お申し込みが必要です)

開催日 : 平成20年9月20(土)21(日) 1泊2日
 場所 : ウェルサンピア多摩 (東京都多摩市落合2-31-1)
 参加費 : 18,000円 (宿泊費、3食込み)
 募集人員 : 42名 (先着順) ※まだ若干空きがございます。
 申込み : 当会ホームページより申込書をダウンロードのうえFAXでお申込みください。

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 (第2群) : 2単位申請中

◆ 第9回西東京EBMをめざす糖尿病薬物治療研究会 (お申込は不要です)

開催日 : 平成20年10月4日 (土) 17:30~20:30
 場所 : パレスホテル立川4階「ローズ」(立川市曙町2-40-15)
 参加費 : 1,000円
 募集人員 : 100名

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 2単位

第9回 糖尿病予防講演会 (お申込は不要です)

開催日 : 平成20年9月27日 (土) 14:00~17:35
 場所 : 前進座劇場 (吉祥寺駅公園口徒歩12分)
 参加費 : 無料
 テーマ : ~メタボリックシンドロームにどう向き合うか~

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 2単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 (第2群) : 1単位

◆ 第4回 西東京糖尿病心理と医療研究会ワークショップ (※お申し込みが必要です)

開催日 : 平成20年11月22日(土) 18:00~
 : 平成20年11月23日(日) 8:30~13:00
 場所 : 多摩永山情報教育センター
 多摩市諏訪2-5-1 (京王線・小田急線永山駅下車徒歩5分)
 定員 : 60名※参加費は事前振込み制となっております。
 参加費 : 医師13,000円 コメディカル11,000円
 (宿泊シングル、夕食、朝食込み)
 ※懇親会費として別途500~1,000円徴収させていただきます。
 申込方法 : 同封の申込書にてFAXでお申込ください。
 締め切り : 平成20年11月7日(金) ※定員になり次第終了

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位 : 10単位申請中

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

~お詫びと訂正~

会報第62号の西東京臨床糖尿病研究会例会の記事中で当会理事、かんの内科 菅野一男先生の医療機関名が誤って掲載されました。申し訳ございませんでした。ここにお詫びと訂正をさせていただきます。 誤) かんの小児科院長 → 正) かんの内科院長

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 リेंटフ ラヂ 402
 TEL : 042(322)7468 FAX : 042(322)7478
<http://www.nishitokyo-dm.net> Email:w_tokyo_dm_net@ybb.ne.jp

